

## これまでの協議会の活動・成果

- 各ワーキンググループにおける取組の検討・実施
- 協議会としての活動PR・情報発信
- 協議会でのネットワークを生かした市と参加団体との連携事業の展開

## “調布スマートシティ協議会”の更なる発展を図るための新たな視点

- ▶ 協議会としての**目標設定**・市における位置づけの明確化
- ▶ 協議会活動への**市民の参加機会**の充実
- ▶ 取組の実施・検証**プロセスの明確化**
- ▶ ワーキンググループ主導団体等以外の会員団体による**コミットメント**

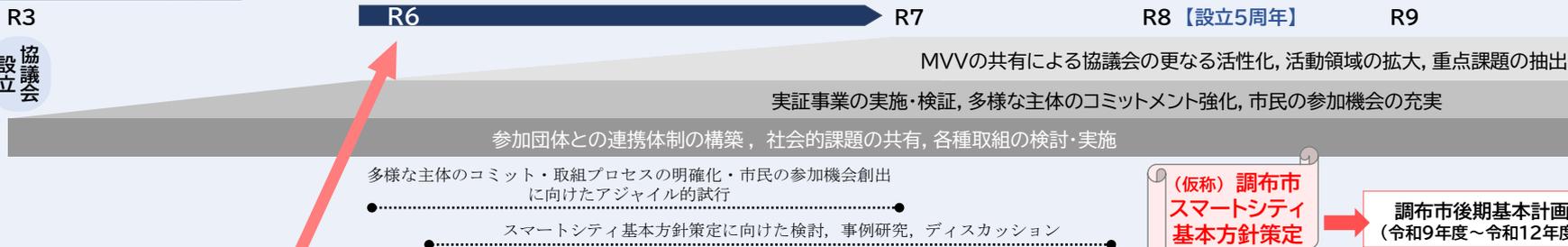
協議会としての取組における**行動指針**の共有中長期的な**ロードマップ**の共有

※協議会の“旗振り役”である市として協議会へ改めて整理して提示し、構成員が共通認識の下で活動できる基盤を整える。

## ～取組の各フェーズにおけるMVVに基づく市のコミットメント～



## ● 中期ロードマップの共有 ●



## ● 推進・検討体制の充実 ●

- ・市の当該年度の重点課題の共有(当初予算の新規・拡充を中心とした概要説明) → 市の課題認識の共有
- ・実証事業の進捗共有, 当該事業参加団体以外の会員団体からの提案・評価 → 多様な主体のコミット, 協議会の取組方向の把握・検討
- ・個社連携事業の協議会の取組としての位置付け明確化(各WG, その他) → 活動領域の拡大
- ・検討状況の公開, 情報発信の強化

「共有価値創造型スマートシティ」政策の中長期的な指針として策定し, 市としての**将来像**や**重点的に取り組む社会的課題の設定**を目指す(内容更新のタイミング等要検討)

デジタル技術等を活用した産学官連携による価値創造の視点を分野横断的に位置づけ, 計画期間における優先的取組課題を設定

## ● 「調布スマートシティ協議会」におけるMVVの共有 ●



デジタルをはじめとする先端技術を活用し, 調布市民の利便性の向上, 調布のまちの社会的課題の解決を図る

- ・市単独では生み出せない成果を創出する新規性のある取組
- ・参加団体が持つ技術やノウハウを生かした取組を実施

産学官民の連携により, 社会的課題の解決と経済的価値の創出を両立させることで, 持続的成長を続けるまちをつくる

- ・幅広い市民の参加機会を確保

- ① 公共性(市民の利便性向上, 社会的課題の解決への貢献)
- ② 事業性(経済的価値の創出, 持続可能な事業展開)
- ③ 地域性(市独自資源の活用, 市内事業者の活性化)

- ・協議会は新たな取組の検討及び実証の場として位置付け